

京都清水寺 貴主 森清範氏筆の社名看板と本社玄関



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は、市内企業の所有する様々な技術を紹介する「我が社の得意技」などについてお知らせします。

我が社の得意技 ⑨ 世界最高水準の環境配慮型熱処理技術 株式会社谷口金属熱処理工業所(喜多川)

得意分野は金属熱処理

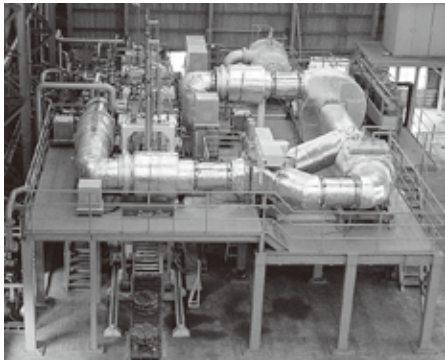
「目的に応じた熱処理を施し、金属の強度や伸びなどの性質を向上させるのが熱処理の目的です。私どもは、この技術を『見えざる技術』と呼んでいます」と(株)谷口金属熱処理工業所の谷口裕久社長は語る。谷口金属熱処理工業所は昭和50年に宝工業株式会社として大阪に産声をあげ、その後、社名変更を経て昭和61年に西条市へ四国工場を建設。昨年6月には、西条市の積極的な誘致に答え、本社機能を大阪から西条へ移転した。

現在、日本の熱処理技術は世界トップクラスである。中でも谷口金属は国内有数の高度技術を有しており、風力発電プラント部品、自動車・大型テレビ金型部品、船舶ディーゼル機関部品、建機部品などの熱処理を行っている。船舶エンジンの駆動エンジン部品の熱処理については、世界シェアの6割、国内シェアの8割を占めており、平成18

年3月には、経済産業省が認定する全国の「元気なモノ作り中小企業300社」に選定された。

熱処理は、産業廃棄物や作業環境などの課題があるが、谷口金属ではエコなモノ作りを実現するため、クリーンなホットガスを活用した「ホットガス炉」を自社開発した。

現在は、中小企業基盤整備機構より戦略的基盤技術高度化支援事業の採択を受け、より製品のゆがみが少なく環境に優しい「マルクエンチ炉」の開発を行っている。



▶ 自社開発したホットガス炉

地域と共に生きる企業

熱処理業界は、廃ガス、廃熱、CO2など環境に良くないイメージがある。しかし、谷口金属では企業活動と従業員の日常生活から排出されたCO2対策のため、西条市の山林約60万㎡を所有し、保全活動を行っているとともに、



▲ 中之池の社有林

敷地内には90種類ほどの木々を植え、社員や地域住民への憩いの場として陶芸教室を開催するなど、企業の社会的責任活動を積極的に行っている。また、谷口金属は東京都の八王子セミナーハウスにある約150年の歴史を持つ古民家「遠来荘」を無償で譲り受け、近いうちに西条市へ移築し、研修室やお茶室、集会所として、近隣の諸団体の方々にも利用していただく計画も進めている。

(レポーター: 技術相談室チーフアドバイザー 林)

谷口金属熱処理工業所からのお知らせ

陶芸教室 生徒募集

谷口金属では、日本工芸会正会員の創玄窯 篠原雅士氏を講師に迎え、月に2回陶芸教室を行っています。電動ろくろを4台、陶芸窯を1台設置し、24時間フリーで教室を開放しており、緑に囲まれたよい環境でのびのびと製作に取り組むことができます。たくさんの方の応募をお待ちしています。

日時 毎月第2・第4土曜日 13時30分～

場所 (株)谷口金属熱処理工業所内 陶芸教室 美茶器(喜多川853-16)

受講料 毎月7000円
申込先 (株)谷口金属熱処理工業所

(担当: 総務部後藤)
TEL 0897-551-5515



▲ 陶芸教室の様子